

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0501009

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A	
単位施策	3 母子保健の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	5歳児発達支援事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	12 教育委員会教育振興課	
事業指標	5歳児健診受診率		8 保育所	
事業目標	80%	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 発達障がいへの理解・関心の向上	関係例規・法令名	2 母子保健法・発達障害者支援法	
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	軽度発達障害の早期発見・小児肥満等小児期からの生活習慣病の予防を目的に5歳児の健診・健康相談事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所・教育委員会・発達支援センター等関係機関との連絡会議の開催 ・発達障害児・保護者への障害の認識から療育等の現状の聞き取り調査 ・発達障害児・保護者支援の課題の整理 ・発達障害の概念等の普及 	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児健診(3歳児健診と同時実施) ・療育専門機関等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児健診(3歳児健診と同時実施) ・療育専門機関等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児健診(3歳児健診と同時実施) ・療育専門機関等との連携 ・発達支援関係学習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児健診(3歳児健診と同時実施) ・療育専門機関等との連携 ・発達支援関係学習会の開催 	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	560	50	140	90	140	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	560	50	140	90	140	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	280	20	7	67	83	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	280	20	7	67	83	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)	【評価・実績】	(実施内容等) 発達障害に係る関係者の学習会の開催 1回 発達障害児(者)の乳幼児期の健康課題等の整理 ※前年度評価結果	(実施内容等) 5歳児健診受診者数 30名 受診率 93.8% 発達障害に係る学習会 1回 ※前年度評価結果 B-継続/拡充	(実施内容等) 5歳児健診受診者数 32名 受診率 97% 発達障害に係る学習会1回 事例検討1回 個別相談 2階延べ20件 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 5歳児健診受診者数 32名 受診率 100% 発達障害に係る学習会 2回 事例検討 1回 個別相談 3回延べ168件 ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 5歳児健診受診者数 32名 受診率 97% 支援者向け学習会1回 個別相談 3回延べ116件 ※前年度評価結果 A-継続/拡充
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	受診率80%	受診率80%	受診率80%	受診率80%	
		年度達成率	40%	5%	74%	59%	
		全体達成率	4%	5%	17%	32%	
		事業進捗状況	☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	

事業名	5歳児発達支援事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	5歳児児童、保護者及び発達障害児・保護者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	5歳児健診受診率	
【抱える課題やニーズは】	心身両面とも健康的に発達し、適切な時期に適切な支援を受けることができる	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	発達障がい児の発見と適切な支援を受ける機会を持てる 肥満等生活習慣病の予防に向けた適切な生活習慣を獲得できる	①	5歳児健診受診率	平成24年度
			目標年度	80%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	発達障がい児・保護者が適切な支援のもと、能力をいかして地域で生活できる 適切な生活習慣を獲得し、小児肥満等生活習慣病の原因となる状態を予防できる	②	実績値	97%
			達成度	121.3%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	5歳児健診の実施	3歳児健診等と同時実施により、健診及び心理発達相談、栄養・歯科相談を実施した。		
	発達障がい児支援関係者学習会の開催	町内保育所、教育関係機関等発達障がい児(者)支援関係者を対象とした学習会を開催した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	発達障がい児の早期発見・早期支援は市町村に義務がある。5歳児健診は義務ではないが、母子保健法に規定される3歳児健診等では発見が困難な事例を就学前に発見し、適切に支援するために必要性が高い事業と考える。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	目標値を達成し、発達障がい児、コミュニケーション等社会性に困難を抱える児童の把握と支援に有効である。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	従来から実施している乳幼児健診と同時実施や公的支援機関を活用するなど事業費を抑制し効率的に実施することができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	受益者負担はないが、すべての児童に対し就学前の幼児期の最終段階において、健診・子育て支援の機会を提供し、保護者とともに児童の成長発達を確認できる機会となり公平性がある事業と考える。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
5歳児健診の実施や、関係機関との学習会の実施など計画のとおり事業を進めることができた。		



今後の展開方向(Action)	継続/現状維持	
	個別事例を通じた関係機関との連携は進んでいるが、乳幼児期から就学時、学童期、成人期までを見通した支援体制の構築に向け関係機関との連携強化を図る。	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止